

## 児童養護施設 18 歳の旅立ち

NPO 法人プラネットカナル理事長 鈴木 邦明様

### 卓話者紹介 牛島 聡会員

鈴木様は、1951年、東京都生まれ。慶應大学工学部卒業後、日本IBM、ジブラルタ生命、アビームコンサルティング等の経営に携わり、2015年、特定非営利活動法人プラネットカナルを設立されました。

山本様は、乳児院、児童養護施設、自立支援ホームで育ち、現在は、児童養護施設出身者に成人式の振袖姿を無償で撮影してあげるというプロジェクトで活動しています。「生まれてきてくれてありがとう」を伝えるこのプロジェクトは、NHKをはじめ、多くのメディアに取り上げられています。

昔は孤児院と呼ばれていた児童養護施設は全国に600強あり東京には55ある。今は、親がいない子は6%だけ。全体の6割が虐待などで親元にいられない子。18歳になると施設を出ていかなければならない。ひとり暮らしを始めるのは精神的にも経済的にも大変。皆、普通の18歳、不安も夢もある。違うのはいざというとき頼れる家庭がないこと。

私たちにできることは限られているが、ひとり暮らしに必要な家電や家具をプレゼントする活動をはじめた。家電や家具を買わなくすめば大きな助けになり、長期間、生活の支えになる。

一方、大学卒業、実家に戻る、結婚、単身赴任終了、増改築等々とき、誰かが亡くなったとき、テレビやパソコンを最新にするときなど、十分使える家電・家具がいらなくなり寄贈したいと思っても、結果的にお金をかけて処分されている。欲しがっている人がいるのにモッタイナイ話。

この間をつないで、寄贈品を地域で集め保管し年1回まとめて配送すれば、運び届けることが現実になり、みんなハッピー！プラネットカナルのカナルはモノを運び届ける運河という意味。

私たちは現在16施設を支援しており、お蔭様で、昨年13施設35名の卒園生の希望者全員に主要な家電を贈ることができ、それ以外にも274アイテムを贈呈。今年は14施設45名。贈呈式は、不安ななか、嬉しそうな卒園生たちの微笑みで溢れている。応援している人たちが沢山いるということが力になっていると確信している。

この活動を応援いただくには、たとえば●不要な家電・家具の寄贈(紹介)。手間も費用もかからない。小型冷蔵庫、洗濯機、テレビ、電子レンジ、炊飯器、掃除機、DVD、衣類用チェスト、コタツ、座卓や調理器具など。ギフトカタログも大歓迎●寄贈品引取保管で使用する小型トラックを半日単位で提供●一時保管場所提供(紹介)。空いている部屋や空き家の隅を翌年3月まで●ボランティア参加。初めてでも貢献できる。2月の贈呈式参加だけでも●会員になるだけでも。

是非、ロータリークラブとしての児童養護施設応援活動のひとつに！！贈呈主に！！ 寄贈呼びかけを

していただければ、保管、一括配送、贈呈までプラネットカナルが全面的にバックアップ。

私たちは、ひとつのNPOで閉じず、地域の団体(ロータリークラブ)・企業(横河電機・大塚商会・セールスフォースドットコム・シグマックス・首都圏物流等)・大学生・アメリカンスクールなどと一体となって活動している。子供たちが微笑みに変わる瞬間のために。

## すべてに意味があり みんな大事な存在

ACHA プロジェクト 山本 昌子様

私は生後4か月から2歳までを乳児院、2歳から18歳までを児童養護施設、18歳から19歳までを自立援助ホームで育ちました。育児放棄で、あと何時間か遅くなっていたら死んでいたという段階で保護されたそうです。

私の児童養護施設の生活は「幸せ」という言葉に尽きます。傍にいてくれた人達の笑顔、夜寝る前の絵本の時間、みんなで騒がしく囲む食卓。職員の肩が方たちは、いつでも真剣に考え向き合ってくれました。血の繋がりはなくても本当の家族だと感じられました。

それが、卒園を機に一変します。保育専門学校受験をして合格したのですが、学費出してくれるはずの父がNOと言ってきたので、合格はキャンセルして自立援助ホームに住むことに。朝から夜まで必死に働き続ける日々、バイトの行きと帰りは毎日泣きながら、1年間で100万円を貯めて夜間の保育専門学校に入学。しかし、同世代の子達がやりたい事をしていても我慢

して頑張ってきたのに、入学金を払っただけでそのお金が一瞬で消えてなくなってしまい、とてもショックでした。普通の親御さんと生活は私にはどんなに望んでも手に入らなかった事です。そして、押し寄せる孤独感。施設での自分が全てだったのに「自分には帰る場所がどこにもない」

自分の過去に会いに自分の子どもの頃を知っている人に会いにいき、そこで、私の今までの人生には沢山の愛があったと気づき、「すべてに意味があり、みんな大事な存在」ということに気づいたのです。

また、専門学校の先輩あちゃんという方が後撮り撮影という形で振袖を着せてくださったことが、児童養護施設出身の子達に振袖写真撮影で「生まれてきてくれてありがとう」を伝えるACHAプロジェクトにつながりました。現在プロジェクトの活動は4年目、これまでに約100名の撮影を行いました。

最後になりますが、プラネットカナルさんの活動により多くの児童養護施設出身者の若者たちの生活が潤い助けられています。児童養護施設出身者にとって支援があることは当たり前ではなく、奇跡のようなことです。皆さんどうか引き続き応援団でいてください。よろしくお願い致します。



創立 1993年10月13日(平成5年)  
事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2  
グランドマン九段906号  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
<http://tokyo-orc.jp/> E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
会長: 永井 一史 幹事: 西村美智子  
会報委員長: 松島 健  
会報委員: 木村・木宮・佐々木・八木・山下